

## メッセージ

核兵器のない21世紀を願う「原水爆禁止2014年世界大会」の開催にあたりまして、日頃から献身的な平和活動にご尽力いただいております皆様に対しまして敬意を表します。

戦争を知らない世代が国民の多数を占めるようになりつつありますが、被爆後69年が経過した現在でも、多くの方が原爆の後<sup>こうしょうがい</sup>障害で苦しんでいるという事実を、私たちは決して忘れてはなりません。

しかしながら、地球上にはまだ多くの核兵器が存在しており、世界平和と人類の生存に深刻な脅威を与えております。

昨年、私は広島市で開催された「平和首長会議」総会に出席し、他の自治体等との連携を深めるとともに、本市における平和への取り組みについて紹介しました。また、本年6月2日には副会長を務める「日本非核宣言自治体協議会」において、設立30周年の記念大会が本市で開催されました。

これからも、核兵器の廃絶と恒久平和の実現に向けて、平和の輪をひろげる取り組みを行って参りたいと考えております。

核兵器の廃絶と平和な地球の実現を心から願うとともに、世界大会に参加された皆様のご健勝と大会のご成功を祈念してメッセージとさせていただきます。

2014年（平成26年）7月 4日

藤沢市長 鈴木恒夫